



第 1789 回例会

平成 26 年 5 月 29 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 50 名 出席者数名 30 名
出席率 60 % 前回修正出席率 58 %

4. 会長スピーチ



会長 小椋 孝一 君
皆さん、こんにちは。先週 18 日(日)家族例会に多数の会員及び、家族の皆さんご出席ご苦労様でした。

5月 28 日(水)から 6 月 3 日(火)まで宇恵さん、上中さん、桑添さんがロータリークラブ世界大会(シドニー)に出発します。気を付けて行って来て下さい。

今日は、先日地区協議会がありましたので、会長エレクトの山東さんより報告をお願いしていますので、よろしくお願いします。

さて、先日、山畑副会長が鹿児島県知覧町に研修に行かれたとの事で、お土産に特攻のまち・知覧「はるかなる大空に祈る」の本を頂きました。この本を読んでみると知覧で過ごした特攻隊員が、國の為に自分の体をはって、特攻機に乗り込み敵の船に体当たりして死んでいく戦友のことを生々しく書いてあります。特攻隊の特攻機に乗り込み、途中特攻機のエンジンが故障等により生き延びて日本に帰ってきて、その後知覧の特攻隊の事をこの本に書かれています。日本の為に死んでいった若者たち特攻隊の為にも、今生きている私達は今こそ、日本の為に何かを残していくかなければならないと感じています。

また、今後 2640 地区ロータリーの 2015-2016 年度ガバナーノミニーについて、R I 会長に対し、「郵便投票に示された当地区的意志を尊重いただき再考をお願いする」旨の連絡がきました。当クラブの判断に

ついて、相談したいと思います。例会終了後、理事の皆さんに残ってください。

5. 幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山北 R C 6 月 23 日(月)→ 6 月 23 日(月)

19:00~ 味処「三八波」

和歌山東南 R C 6 月 25 日(水)→ 6 月 27 日(金)

18:30~ ルミエール華月殿

(最終親睦夜間例会)

和歌山中 R C 6 月 27 日(金)→ 6 月 28 日(土)

18:00~ マリーナシティ ヨットクラブ 2F

(最終例会)

○休会のお知らせ

和歌山北 R C 6 月 30 日(月)

6. 会員卓話 地区研修協議会の報告

会長エレクト 山東 剛一 君

4 月 27 日(日)10:00 受付、

11:00~12:00 に全体協議会

が開かれました。全体協議会

では、辻ガバナーエレクトの

地区方針講演をメインに私の

心に残るロータリーエクス

リートとして 3 人の発表がありま

した。辻エレクトは次期 R I 会

長のゲイリー・ホアン氏の方針を

中心に話し、その線に

沿ってすすめていく旨の話をされました。

一言で言うなら LIGHT UP ROTARY 「ロータリーに輝きを」という事です。RI のテーマ、ガバナーの基本方針についてはまた機会を改めて報告することになると思います。

午後は 13:20 から部門別協議会に入り、会長部門では地区方針として会員ひとりひとりがロータリーの活動に汗を流し、力を合わせることによって、ロータリー

を輝かせて地域社会と世界を「世界の光」で輝かそう!

後半、質疑応答の時間がありましたが、内容は報告

四つのテスト 實行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 S A A : 重光 孝義

するに値しませんので省略します。

幹事部門は①役割と責務②報告要件③クラブ役員と協力するにはなどの話がありました。また、次年度の予算について、採決の結果、最終的に成立しませんでした。

クラブ奉仕部門は会員増強委員長、雑誌委員長、ロータリーの友地区代表委員からそれぞれ活動方針が話されました。

会員増強の基本方針は各クラブ純増2名以上、地区トータル8%増強・維持セミナーを計画する。女性会員や若い会員の増強。

雑誌委員会の基本方針は「ロータリーの友」必読推進と外部広報として公共イメージ向上のための活動推進。

地区協議会出席者（敬称略）は、中西、谷脇、田中祥魚谷、倉橋、花田、山田、三木、岩井、柳生、山東の以上11名。

この後、次期ガバナー補佐の谷脇君、次期地区幹事の中西君にも発表していただきます。



○次期ガバナー補佐 谷脇 良樹 君

ガバナーエレクトとは電話で話をし、相談いたしましたが、もう少し、意見を取り入れ、柔軟に対応してもらいたい。予算の承認にも影響したとおもう。

○次期地区幹事の中西 秀文 君

山東会長エレクトの代理で、会長エレクトの会に出席しました。予算の審議については、ここでも承認されませんでした。

次回例会

第1790回例会 平成26年6月2日(月)

18:30~ 海南商工会議所4F

【夜間例会】お誕生日、ご結婚のお祝い



ニコニコ・BOX

山東 剛一 君

昨日の会長エレクトの会、地区自治会のイベントで出席できなくて中西副会長（予定者）にかわっていただきました

大谷 徹 君

先日、家族会ありがとうございました。又、上野山さん。ご苦労さんでした。

小椋 孝一 君

先日、親睦委員長、上野山さんご苦

労さんでした。

木地 義和 君

孫と二人、楽しい一日を過ごしました。上野山委員長、有難うございました。



走れ、検診トレーラー！

K. ゴビンダラジ医師と、K. N. スリニバサン医師は、インドのスリランガム・ロータリークラブの会員です。二人は、地元地域のある町で、乳がんによる女性の死亡率が異常に高いことを発見しました。



乳がんは、二人にとって特別な意味を持っていました。10年前に母親を乳がんで失くしたゴビンダラジさんは、母親をしのんで乳がん研究支援のための「シャンタ財団」を設立。一方、スリニバサンさんの診療所には、これまでになく多くの若い進行乳がん患者が、診療所を訪れていたからです。

インドでは、女性の0.02~0.04パーセントが乳がんを患っていると言われていますが、都会の病院まで出向き5,000円相当の検診料を払って検診を受けることができない女性が多いのが実情です。そこで、二人は、ほかにがん検診を行う方法がないかと考えていました。そのころゴビンダラジさんが、たまたま訪れた韓国で、ショッピングセンターの駐車場でレントゲン機器を搭載したバスを見かけ、そのような移動検診所があればインドの女性たちを救えると考えました。

そこで、二人はロータリーのグローバル補助金を申請、その資金で検診機器を購入し、トレーラーに搭載しました。2012年4月以来、その検診トレーラーは、シャンタ財団と、米国メリーランド州のロックビル・ロータリークラブが協力して運営。すでに6件の乳がんが早期発見されたほか、何千人の女性が自己検査の方法を学びました。さらには、地域の女性たちが乳がん以外の健康問題についても気軽に相談できるようになりました。検診トレーラーに搭載した機器・備品は、乳がん検診用X線装置、超音波検査器、乳がん自己検査の研修資料など、総額34,000米ドル。トレーラーは、シャンタ財団が維持しながら、特に都会から遠い地域にあるNGO、女性のグループ、企業などに適切な訪問先を手配してもらい、検診と診断を行っています。訪問スケジュールを組む際には、スリランガム・ロータリークラブが支援し、訪問先の地元メディアを通じて事前に広報するだけでなく、検診当日は、ロータリアンが検診トレーラーに乗り込み、エイズに対する認識や健康管理について、訪問先の女性たちに説明しています。